

学習指導要領		都立東高校 学カスタンダード
(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方	現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。  現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。	私たちの身近な問題から様々な環境問題と人間の活動とのかかわりについて理解させる。  資源の有効性について理解を深めさせる。  科学技術の発達と人間生活の変化、イノベーションの歴史的な体系、科学技術発展のための様々な問題点について考えさせる。  高度情報化社会の課題、社会に及ぼす影響について考えさせる。
	ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。  イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。	青年期のあり方について、心理的特徴、自立の側面から考えさせる。  職業や社会活動の意義について理解させ、考えさせる。  伝統や文化と自分たちの身近な生活のかかわりについて考えさせる。  政治、国家、国民等の基本的な事項を理解させる。  法の支配、基本的人権の尊重・保障について朝日訴訟や堀木訴訟など具体的な判例をとおして理解させる。  世界人権宣言、国際人権規約、国連人権委員会など国際的な人権思想の形成過程を理解させ、考えさせる。  イギリス、アメリカ、中国、EU（ヨーロッパ連合）の政治体制を理解させる。  日本国憲法と明治憲法との比較、さらに日本国憲法の基本原理について考えさせる。  日本国憲法第9条、恒久平和主義、戦争放棄、非核三原則、自衛隊をめぐる問題などについて理解させる。

学習指導要領	都立東高校 学カスタンダード
<p>ウ 個人の尊重と法の支配</p> <p>個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<p>議会制民主主義、国民主権、法の支配、立憲主義、法治主義についての基本的事項を理解させる。</p> <p>国会の地位、権限、衆議院の優越などについて理解させる。</p> <p>内閣、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政組織について理解させる。</p> <p>司法権の独立、最高裁判所、さらに裁判員制度について理解させる。</p> <p>地方自治の組織と運営、地方自治の課題について理解させる。</p> <p>政党の役割、日本の政党政治、圧力団体、選挙制度さらに主権者教育について理解させる。</p> <p>国際社会の特徴、国際法の意義と役割について考えさせる。</p> <p>自由権、社会権、参政権、国務請求権、法の下での平等についての基本的な考えを理解させる。</p> <p>環境権、知る権利、プライバシーの権利、さらに忘れられる権利、患者の自己決定権、嫌煙権などの新しい権利についても調べさせていく。</p> <p>基本的人権と公共の福祉について理解させる。</p> <p>経済の基本的な仕組み、資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解させる。</p> <p>企業の役割と責任、株式会社、多国籍企業などについて理解させる。</p> <p>市場のしくみ、戦争と独占・寡占などについて考えさせる。</p>

学習指導要領	都立東高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<p>国民所得や景気変動について考えさせる。</p> <p>財政政策の意義、日本の財政の課題、租税について理解させる。</p> <p>資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割と金融政策、金融の国際化・自由化について理解させる。</p> <p>高度経済成長やバブル経済の要因など、戦後日本経済のあゆみと日本経済の課題について考える。</p> <p>技術革新の進展、産業構造の高度化、経済のソフト化・サービス化、中小企業の役割、農林水産業についての現状などについて理解させる。</p> <p>労働基準法と労働三法、雇用事情の変化、労働条件の改善と今後の課題を理解させる。</p> <p>日本の公害問題、四大公害訴訟、とくに水俣病についての知識・理解に努めさせる。</p> <p>消費者主権と個人の社会的責任、消費者保護政策について理解させ、考えさせる。</p> <p>社会保障の意義、現代の社会保障の課題について考えさせる。</p> <p>国際経済のしくみ、円高・円安のしくみ、経済のグローバル化について理解させる。</p> <p>FTA、EPA、EU、NAFTA、APEC、ASEAN などの地域経済統合の動きを理解させる。</p> <p>日本の貿易、アメリカ、アジアなどの貿易について理解させ、貿易の拡大とそれに伴う貿易摩擦について具体例をあげて考察させる。</p> <p>南北問題、発展途上国の現状と課題について理解させる。</p>

学習指導要領	都立東高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>国際協力・国際協調のあり方、国際経済の中での日本の役割について考えさせる。</p> <p>哲学や宗教の役割を理解させる。 それらの思想、考え方を通して人生を豊かに生きることはどうゆうことなのかを多角的に考えさせる。</p> <p>日本の伝統意識を理解させる。生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について、考えさせていく。</p> <p>人間の尊厳、科学的なものの考え方、民主的な社会を樹立するために必要な考え方の理解を深めさせる。</p> <p>平等な社会の実現に向けての努力のあり方を考えさせる。</p> <p>そのケーススタディとして「個人と社会の関係」「社会と社会の関係」「将来世代と現代世代の関係」について、税と社会、資源・エネルギー問題、世界の人口問題といった具体的なテーマから、未来を考えさせる。</p>

